

内科学教室ベストレジデント賞、症例報告最優秀賞を当科でダブル受賞しました

2017年度の慶應義塾大学医学部内科学教室ベストレジデントを当科大学院生（現 D4）の斎藤 優樹先生、症例報告最優秀賞を指導者として正岡建洋講師が受賞され、当科からのダブル受賞になりました。大変おめでたいことであり、報告させていただきます。お二人の益々のご発展が期待されます

文責：研修担当主任 谷木信仁

2017年度内科学教室ベストレジデント賞：斎藤 優樹先生



斎藤 優樹先生 受賞挨拶

この度は、ベストレジデント賞に選出いただき、大変光栄に思います。ご指導いただきました先生方に深く感謝申し上げます。全ての内科をローテートし、様々な疾患の患者さんを診させていただいた事は貴重な経験であり、自らの内科医としての基礎となるものでした。出会った全ての患者さんへの感謝の思いを胸に、益々精進して参ります。更なるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2017年度内科学教室症例報告最優秀賞：『胃 MALT リンパ腫が疑われたリンパ増殖性疾患の一例』

石垣 星，正岡 建洋（指導者），亀山 尚子，川井田 みほ，亀山 香織，森 毅彦，金井 隆典
医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2017 東京（2017年4月15日）で演題賞を受賞。

その後、Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder of the stomach presumed to be mucosal-associated lymphoid tissue lymphoma: a case report Internal Medicine. in press で英文論文化



正岡建洋先生 受賞挨拶

このような賞をいただき、光栄に存じます。これも筆頭著者の石垣先生の頑張りと共に著者の先生方のご助力のおかげです。大変、感謝致しております。このような各診療科との良好な連携は慶應義塾大学医学部内科学教室の伝統がなせるものです。一人でも多くの後輩にこの伝統を引き継いでいけるように今後も精進致します。

引き続き、ご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。